山県市初！ 市の魅力を全国にPR！

三山ひろしさんが山県市ふるさと大使に就任

全国に山県市の魅力を発信するため、市初となるふるさと大使に、演歌歌手の三山ひろしさんを任命しました。

任命式は、7月4日に東京都で行い、その様子をLIVE配信しました。

三山さんは、4年連続で紅白に出場するなど演歌界のホープとして知られています。

今回、美山地域と読み方が同じで、紅白出場前に当市でコンサートを行っていたご縁から、ふるさと大使に就任していただきました。

三山さんは「ご縁のある山県市のふるさと大使に任命いただき大変うれしく思います。第二のふるさと山県市を全国にPRしていき、今まで応援してくださった方々に恩返しができたらと思います」と力強く意気込みを語りました。

市長は「まだまだ山県市の知名度は高くない。三山さんの力で、全国に市をPRしていただきたい」と期待を寄せました。

また、任命式では三山さんの代名詞でもあるけん玉を披露していただき、会場は大いに盛り上がりました。

児童の笑顔を守るため 交通安全啓発活動実施

6月3日、岩佐地内の横断歩道で、小学生に対して交通安全の啓発活動を行いました。

この活動は、県下において、7歳児の交通事故死傷者数が多いことから、小学生を対象に行いました。事故は、登下校中が多く、横断歩道を渡っている最中に多発しています。

当日は、副市長や山県警察署長、県警の交通機動隊が交通安全を呼び掛け、啓発活動にあたりました。

恩田康雄さんに 藍綬褒章を伝達

山県市消防団長の恩田康雄さんが、令和2年春の褒章で、現役の消防団員として最高位にあたる藍綬褒章を受章され、6月24日に市長から受章伝達を行いました。

恩田さんは、永年にわたり、消防業務に献身し、消防力の強化・消防活動の推進に貢献され、この功績が認められ受章されました。

本来であれば、皇居で開催される伝達式に参加される予定でしたが、新型コロナウイルス感染症対策のため中止となり、市長から伝達を行いました。

自衛官募集相談員の 委嘱式開催

6月30日、市役所公室で、自衛官募集相談員の委嘱式を行いました。2年任期の相談員に委嘱されたのは、小森忠正さん、吉田利雄さん、武藤嘉邦さん、上野敏信さんで、いずれも10年以上相談員として活躍しています。相談員は自衛官募集について、地域の集会などで説明したり、ポスター掲示による周知を行ったりするなど市内で精力的に活動しています。

委嘱式の後、相談員と市長、自衛隊岐阜地方協力本部長による積極的な意見交換を行いました。

新日本薬品(株)が 次亜塩素酸水生成器を贈呈

7月8日、市役所公室で、新日本薬品(株)代表取締役松野貴志さんから市に対して、新型コロナウイルス感染症対策のため次亜塩素酸水生成器の寄贈があり、感謝状の贈呈を行いました。

頂いた生成器は、水と食塩を入れると、消毒液として使用できる次亜塩素酸水が作られます。

松野さんは「緊急時に避難所を開設する場面など、地域の方々のために使っていただけたら」と話しました。市長は「すぐに使える物を頂き大変ありがたい。早速活用していきたい」と感謝を述べました。